



西中だより

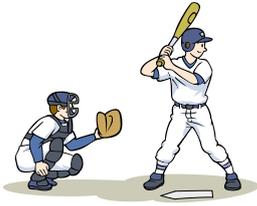
学校教育目標

志を持ち 自ら学ぶ 健康でたくましい生徒

県下に誇れる西中を



桶川市立桶川西中学校
令和4年 8月25日
第6号



自分自身を磨く2学期に

校長 磯田 輝昭

8月25日の始業式の式辞で以下のような内容を生徒達に話しました。

おはようございます。35日間の夏休みが終わり、今日から2学期がスタートします。今年の夏は35℃以上の猛暑日が続き、またウイルス感染者が高止まりとなる夏休みとなりました。まだまだ残暑が厳しい日が続きますが、1学期同様、熱中症予防のためのこまめな水分補給と休憩及びウイルス感染予防のための手洗い・うがいの徹底、三密の回避、必要に応じたマスクの着用等を行っていきましょう。

さて、今年も阪神甲子園球場では高校野球の熱戦が繰り広げられていました。その熱戦を観戦する中で、素晴らしいプレーの数々にも感動しましたが、プレー以外に私が感動したシーンがありました。それは試合終了後、負けてしまった選手たちの涙です。どの選手も試合中は、真剣な眼差しで勝利を目指して表情一つ変えないで（ポーカークフェイスというのでしょうか）全力でプレーしていました。しかし、試合終了のサイレンとともに敗戦が決定すると、周りを憚らずに多くの選手が大粒の涙を流していました。この光景を見るたびに私自身も目頭が熱くなりました。プレー以外に人の心を揺り動かすシーンでした。

なぜ、高校球児は涙を流すのでしょうか。なぜ、その涙は人の心を揺り動かすのでしょうか。私が思うには、甲子園大会に出場し、本大会で勝利するという目標を達成するために、継続した厳しい練習に耐えて**一生懸命に取り組んできた過程**があるからだと思います。いい加減な気持ちで練習をしてきたとしたら、おそらく涙は流せないと思います。一生懸命に取り組んできた証明が、美しい涙となったのだと感じました。勝敗や結果・成果に関わらず、**一生懸命に取り組む過程が人を成長させるのだ**と思います。

さて、2学期は、青く澄み渡った空、吹く風のさわやかさ、虫の声、木々の紅葉など、1年の中で1番過ごしやすい季節です。学習や部活動、行事等に目標をもって、真剣に**一生懸命に取り組む過程を大事**にして、高校球児のように**自分自身を磨く2学期**にしていきたいと思います。

2学期も子供達を心身ともに成長させるために教職員一同、取り組んで参ります。

保護者・地域の皆様、1学期同様、桶川西中学校の教育活動への温かなご理解、ご協力をよろしくお願い致します。